

## 平成22年度 大田区区民協働推進会議（第一回）

### 次 第

平成22年4月20日（火）  
18時30分～20時30分  
本庁舎 教育委員会室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 平成22年度のスケジュール（案）
- 3 平成22年度区民協働担当事業概要説明
- 4 地域力応援基金助成事業審査について
- 5 スタートアップ助成の審査について  
書類審査5月7日（金）～18日（火）  
面接審査5月27日（木）～28日（金）うちの1日  
12団体予定 時間 午前9時～12時 午後1時～5時
- 6 連携・協働の仕組みづくりについて…連携・協働を阻む問題点の洗い出し
- 7 第二回推進会議「地域力応援基金助成事業スタートアップ助成審査会」について  
開催日の調整  
6月7日（月）～6月10日（木）の間で1日  
開催時間 18：30～20：30
- 8 その他

---

出席委員：9名 地域振興部地域力・国際都市担当部長 区民協働担当2名

区民協働推進会議（第一回） 会議録

**事務局** 会議を始めます。去年に引き続きよろしく申し上げます。では、担当課長からごあいさつさせていただきます。

**担当課長** 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今年度も審議していただくことがたくさんありますが、よろしく申し上げます。本日、会長が欠席とのことなので、H委員に議長をお願いしています。よろしく申し上げます。

事務局からの提案

**事務局** 事務局から提案をさせていただきます。

**担当課長** 資料2は、推進会議スケジュールです。テーマの討議は4回 地域力応援基金助成事業審査会が3回です。2月までの全7回です。

資料3は事業概要です。資料4は地域力応援基金助成事業のご案内です。募集の説明書がピンクのものです。現在募集をしています。以上です。

**H委員** 本日の審議、よろしく申し上げます。

まず地域力応援基金助成事業の審査について、みなさんからのご意見に対し事務局から提案があるとのことです。

**担当課長** スタート・ステップ・ジャンプ助成の審査についてですが、書類と面接審査があり、前年度、書類審査が大変だったのご意見がありました。去年はステップアップ・ジャンプアップ助成が52件、スタートアップ助成が29件ありました。助成金の審査員は、推進会議委員と区の管理職です。書類審査のやり方ですが、審査の件数が多くても、半分に分けて審査すると、審査の公平性が保てなくなってしまうと思います。やはり全件を審査員が通して審査していただくのが良いと思います。可能な方に引き受けていただき、書類、面接でそれぞれできるものを選んでいただくしかないと考えています。提案といえるほどのものではありませんが、このように考えております。よろしく申し上げます。

**H委員** つまり従来どおりということですね。何か名案があれば、どなたでも発言してください。

**担当課長** 補足ですが、もし引き受け手のない場合は区の管理職で引き受けます。

**H委員** 何かご意見がありますか？

**J委員** 前は予算について、全団体分をチェックしたので、すごく時間がかかってしまいました。何件か違っていたので…

**事務局** もし計算ミスなどがあつたらあらかじめ事務局で付箋をつけます。

**H委員** それでお願いします。

**L委員** 面接ですが5月28日なら1日あいています。

**I委員** 書類審査評定評を電子データでもらえれば、書類審査をやりませう。

**事務局** メールで送れます。

**H委員** 審査には時間がかかるが、やっていかないとならないと思います。何か気づいた点がありますか？

**J委員** スタートアップの書類審査は12件ですか？

**事務局** でてきたものは全部審査します。

**J委員** 今、何件申請ですか？

**事務局** 3件です。

**担当課長** 参考に去年は29件でした。

**Q委員** 分割審査は私も難しいと思います。ただ私は団体の総会準備のため、書類審査はできません。

**H委員** 書類審査は5月7日から18日、面接審査は5月27日か28日です。

**担当課長** 補足です。申請団体に、所属または利害関係者ははずれていただきます。

**H委員** 予定のある人は審査からはずれてもらいます。

**O委員** スタートアップ助成に申請する予定があります。

**H委員** どなたか審査を引き受けていただける方いませんか？

**I委員** 書類審査をやります。

**H委員** J委員、いかがですか？

**J委員** わかりました。やります。

**H委員** 面接審査はL委員が28日なら都合がよいとのことでした。

**担当課長** 28日に都合の良い方、いらっしゃいますか？

**Q委員** 私がやります。

**L委員** 応募団体数で面接時間は決まってくると思います。

**担当課長** 審査員として、区側は、区民協働担当課長と地域振興課管理職の担当課長、です。ご承認をお願いします。

**H委員** わかりました。よろしくお願いします。

**担当課長** 審査については公表していますが、審査員の氏名は公表していませんので、この場だけということで、よろしくお願いします。

**H委員** わかりました。では、選出委員の皆様よろしくお願いします。

それでは、昨年度から審議しています「連携・協働の仕組みづくりについて」話し合っていきたいと思います。スケジュールによると地域力応援基金助成事業の選考会を抜かすと実質審議の場は、4回です。今回は、「連携・協働を阻む問題点の洗い出し」を行うということで、皆さんに事前にアンケートでご意見をいただいております。

事務局が、まとめてくれた資料をご覧ください、補足も含め各委員さんからそれぞれご説明をお願いしたいとおもいます。

**P委員** 子どもに目を向けたいと思っています。高齢者と子どもをつなぐ取り組みがあればと思います。自治会・町会とNPO法人の連携・協働がとれないかと思っています。

NPO法人の事業計画を特別出張所経由で広報をお願いしたいと思っています。

**O委員** 六郷地区はNPOとの交わりが少ないです。

**P委員** 以前、町会でNPOをたちあげようという発言があったように思いますが

**Q委員** そうですね。私からの補足です。区の姿勢で足りないところがあると思います。

先日の連携・協働の調査の中で協働事業として載っていない取り組みがあった。本庁ロビーでのフライデーコンサートは、企画・運営をボランティアでおこない区と協働しています。協働じゃないと部署が思っているのではないのでしょうか？協働に関する東京都の良いマニュアルを見つけました。ボランティア・業務委託・指定管理も含めて、協働について検証する必要があると思っています。

新宿小の校庭の芝生化の際、大手業者が施行しました。大田区には実績のあるNPO法人があります。そういうところを活かすべきだと思います。区民の意見を聞き調整するのは大変手間と時間がかかるとは思いますがやってほしいと思っています。協働の出発点から考えなおさないといけないと思います。

**N委員** この会議に出るまで協働のことを知らなかったです。委員をやってわかりました。応募する人は熱心で採点するのは難しい。協働ハンドブックを見てよかったですと思います。

**M委員** 協働については区長からよく聞いています。イベントも協働してやっています。既に自分たちは協働していたのがわかりました。自分のやっていることをさらにアップし、改善したいと思っています。

**L委員** 昨年の9月から参加していますが、大田区民ではないので話しに限りがあるとは思いますが、アンケートには次のように答えさせていただきました。

良い点は、自分たちの住む地域を住みよくしよう、改善しようとしていること。

欠けている点は、お互いを理解すること・尊重すること。連携・協働を拒むものについては、自治会・町会とNPOが連携・協働するために例えば、自治会・町会が困っていること(人材不足や、IT等広報の利用等)を列挙し、NPOに相談してみてもどうか？「わかりやすい広報を教えてください」など

NPOが日々の活動で自治会・町会に協力を求めているかどうか？

「〇〇を一緒にやりませんか？」など

(仮称)区民活動支援センターに、連携・協働を担当するコーディネーターを専任で配置すること。NPOへ委託してもよい。コーディネーターは、「活動をやりたい人や組織」を互いにつなぐ役割を果たす。

区と自治会・町会やNPOが連携・協働するために、これまでの連携・協働の成果を適切に(率直に)評価すること。

成功か失敗か？ 成功した要因は何か？ 失敗した原因は何か？ これらの情報を

区全体で共有し、次回に経験を活かすこと。

区が自治会・町会やNPOに望むこと(期待すること)を、各々の連携・協働の場で明らかにすること。

今後、町会・自治会にNPOに聞いてみたいことやNPOが町会・自治会に聞いてみたいことを聞き取り調査したらどうでしょうか？

**0委員** 自治会・町会活動、青少対活動をやってきました。NPOと私の地区は協働がありません。NPOは専門性の高い、レベルが上の団体というような印象がある。私は身近なことばかりをやっています。NPOの人は自治会・町会の仕事をやり、NPOの仕事をしているのか疑問に思う。NPOについては、なかなか理解できない。

**J委員** コミュニケーション、情報不足だと思います。担当が変わると、つながりがなくなってしまう。平成16年の答申と同じことが今また話しあわれているように思います。口コミが重要だ。区内外にコーディネーターが必要。話が区の内部でもつながっていないと思います。

**Q委員** 16年のパートナーシップ会議は積極的だったと思います。傍聴者も多かった。

**担当課長** 平成16年に話し合われたことから、大田区区民活動との連携・協働にかかる基本方針が策定され、区民協働推進条例がつけられました。こらば大森や蒲田のセンターにつながっていると思います。今までの取り組みは活かされ、継承されています。どの程度実現されているか、当然、まだたりないものはあります。

**I委員** 高齢者の取り組みが多いのは良い点、若者の取り組みが少ないのは悪い点です。若い人のNPOで社会貢献ふえているが、審査してみると少ない。高齢者ばかりだとテーマにかたよりがでてしまいます。防災や健康などのテーマが多くなると思います。

ネットワークが必要です。ネットワークがあれば欠けているところを補いなうことができる。つながる意識が大切で、制度が必要です。

NPOに寄付すると控除が認められるなどの制度があれば、取り組みが多くなると思います。企業の人がノウハウを使いNPOを支援している。得意分野で社会貢献していく、場当たりのではなく、活動、自立、継続が必要です。制度について議論していければよいと思います。

**H委員** お互いに、質問があればどうぞ

**L委員** 六郷地区にNPOがないということですが、青少年対策と結びつけるものがないですか？

**0委員** ないといったほうが…

**J委員** 六郷地区は行事が多い。独自でやっています。以前声をかけましたが、入り込めない感じです。

**L委員** 自分たちで行事がやれているということですね。

**Q委員** 六郷地区に3年前までNPO法人東京シューレがありました。本部が王子にあ

り、不登校の子どもを受け入れていますが、神奈川県方面からも子どもが通って来るなど、だんだん地域性が薄れてくるんです。

**Q委員** NPOの立ち位置によって地域とのつながりが出て来ると思います。

**P委員** ろうあ者の学校も全国から集まってくると地域性が薄れてくる。

NPOも地域に密着したいと思っていますが難しい。

**H委員** NPOは目的が特化しているので、地域にはまるかが難しい。面的に広い町会の活動はゆりかごから墓場までです。

**P委員** NPOは使命がはっきりしていて、幅広い活動はできない。手がないのは確かなので、町会には動員力があり、魅力だと思います。

知的障害者を扱う団体は少ないので、団体がいくつか集まってやりあっていて、地域のリタイア組が参加してくれるとよいと思っています。

**O委員** 去年の秋、翔裕園でやりましたね。

**Q委員** みまーも六郷の開始の時ですね。

**O委員** ああいう形でやるといいです。

**Q委員** その地域の介護にかわる団体が集まりました。みまーも大森はジャンプアップ助成をうけ拡大して活動しています。いい形ですね。

**O委員** 青少対の人にかなり保護司の人がいます。社会を明るくする運動に協力しています。

**H委員** 社会を明るくする運動は60年も続いているが一般の人にはあまり知られていないので、残念です。25日のガーデンパーティーも長くやっていますが、子どもたちのために何らかの形でお手伝いをしてもらうなどできるはず。それぞれの団体の関係が薄いのは残念です。行事が特化してしまうと行事のための行事になって形骸化してしまって困ります。

**J委員** ジュニアリーダーについて区は？

**担当課長** 活発にやっています。

**O委員** 蒲田地区は青少対も入ってやっていて、わいかという名称です。毎年やっています。蒲田東が今年やるが、参加者が応募の倍ぐらいきている状況です。

**Q委員** ジュニアリーダーは活躍しています。

**H委員** 青少対の行事のひとつです。

**O委員** 年8回行事があります。

**H委員** 子どもたちのリーダーとして活躍してもらいたいが、難しい。学校・PTAなどに入ってやってほしいと思います。単なる勉強会になってしまうおそれがある。

**P委員** 体育指導員もそうですね。

**H委員** 団体が目的どおりうごいていないと思います。団体間がなかなか融合していかない。

**P委員** 行事も大事です。高齢者の団体でも職場体験したいとの中学や高校からの申し

出が多いが、できるだけ受けるようにして、最後にレポートをだしてもらっています。夏休みボランティア体験も受け入れています。社会人もハローワークから受け入れています。

**H委員** 景気が悪いので企業も受け入れが大変です。

**P委員** 担当者がいないときびしい。

**O委員** 青少対でも六郷では工科高校に、ガーデンパーティーの時、保安要員をやってもらっています。

**H委員** マナーから教えないといけない。座り込んだりしてしまうので

**P委員** マニュアル化しているので教え込まないといけないです。

**H委員** 時間になりました。今日はざくばらんにご意見をだしていただきました。L委員のいう相互理解が大事です。大田区では先ほど「大田区区民活動との連携・協働に係る基本方針」や「大田区区民活動条例」が制定されています。それらを踏まえて具体的な提案をしていかなければというご意見もあったようです。次々回の審議では、問題点を踏まえて、具体的な解決策について提案できるよう審議していきますのでよろしくお願いします。

討議の時間も短いので解決策についてもアンケートによって意見をまとめておいたほうがよいと思いますが皆さんいかがでしょう。

**担当課長** アンケートを考えています。

**H委員** では、みなさんよろしくお願いします。

第二回推進会議「地域力応援基金助成事業審査会」の日程の調整ですが、皆さんご予定はいかがですか？

6月7日（月）～6月10日（木）の間でということですね。

時間は、18：30～20：30です。

#### — 調整 —

では、次回は 6月8日（火）に開催します。

最後になりますが、その他ということで、皆様何かご意見はありますか？

それでは終わります。本日はありがとうございました。

## 平成22年度 大田区区民協働推進会議（第二回）

### 次 第

平成22年6月8日（火）  
18時30分～20時30分  
本庁舎 801会議室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 地域力応援基金助成事業・スタートアップ助成の審査
  - (1) 資料確認
  - (2) 書類審査 5月7日（金）～18日（月）  
面接審査 5月28日（金）  
についての報告
  - (3) 審議
- 4 地域力応援基金助成事業ステップアップ助成・ジャンプアップ審査について
  - ① 書類審査員3名の選定 書類審査期間 8月中旬～9月中旬
  - ② 経過観察審査員の選定

○審査員の名前の公開について
- 5 第三回推進会議について  
開催日の調整9月上旬・開催時間 18：30～20：30
- 7 その他

---

出席委員：9名 地域振興部地域力・国際都市担当部長 区民協働担当3名



区民協働推進会議（第二回） 会議録

**事務局** 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。推進会議をはじめます。担当課長からごあいさつさせていただきます。

**担当課長** 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また委員の皆様にはスタートアップ助成の書類・面接審査にご協力いただきありがとうございます。審査が終了し、本日ご提案をさせていただき運びとなりました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。本日もよろしくお願いいたします。

**K 委員** 先日 23 区の定例会に参加いたしました。NPO のことが取り上げられ、大田区のことを話してまいりました。協働について大田区は進んでいると感じました。長くやっていることに効果があがっていると感じました。ごあいさつにかえさせていただきます。

**事務局** 次に事務局から本日審議をお願いしたいことを提案させていただきます。

**担当課長** 地域力応援基金助成事業スタートアップ助成の審査、ステップアップ・ジャンプアップ助成、書類審査員の選定、経過観察の審査員の選定をお願いします。

審議

スタートアップ助成 書類審査 I 委員 J 委員

面接審査 L 委員 Q 委員

ステップアップ・ジャンプアップ助成

書類審査 H 委員 I 委員 P 委員

経過観察 ラオスのこども M 委員 青年後見 P 委員 カルディナ P 委員

矢口ホタル O 委員 みまーも Q 委員

**K 委員** よろしく申し上げます。続きましてスタートアップ助成審査にはいります。

— 以下スタートアップ助成審査につき非公開 —

## 平成22年度 大田区区民協働推進会議（第三回）

### 次 第

平成22年9月7日（火）  
18時30分～20時30分  
m i c s おおた 教室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
  - 2 会長あいさつ
  - 3 事務局から本日の議題及び報告について
    - (1) 地域力応援基金助成事業について
    - (2) 大田区区民活動支援施設蒲田について
    - (3) 大田区区民活動情報サイトについて
  - 4 審議
    - (1) ステップアップ・ジャンプアップ助成の公開プレゼンテーション  
審査委員について
    - (2) スタートアップ・ステップアップ助成団体経過観察・団体訪問について
    - (3) 連携・協働の仕組みづくりについて
  - 5 次回開催日の調整  
開催時間 18：30～20：30
    - ①第四回推進会議（11月上旬～中旬（8日～12日）  
－ステップアップ・ジャンプアップ助成選考会）
    - ②第五回推進会議（11月下旬～12月上旬（11月29日～12月3日）  
－連携・協働の仕組みづくりについての審議
  - 6 その他
- 

出席委員：10名 地域振興部地域力・国際都市担当部長 区民協働担当2名

**担当課長** 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

**K委員** よろしくお願ひします。

**担当課長** 事務局から本日の議題及び報告です。ステップアップ・ジャンプアップ助成の公開プレゼンテーションは10月23日で、今年は今全申請団体に参加してもらいます。

区民活動情報サイトは、仮稼働をへて、ご意見を伺い本稼働へ移行していきます。よろしくお願ひします。

**K委員** 本日は大田区区民活動支援施設蒲田の教室を使つての初めての区民協働推進会議です。施設については先ほど事務局から説明をしていただきました。

それでは、早速ですが第3回大田区区民協働推進会議の審議に入りたいと思います。次第をご覧ください。

まず始めは、地域力応援基金助成事業 ステップアップ・ジャンプアップ助成の公開プレゼンテーション審査員の選定についてです。今年の申請件数はステップアップ助成が24件、ジャンプアップ助成が1件で、現在、書類審査が終了しています。書類審査を担当してくださった、H委員、I委員、P委員ありがとうございました。

この公開プレゼンテーション審査は面接審査に変わるものとして行われ、公開の場で申請団体に申請事業について説明していただき、審査員からの質問に答えてもらうといった方式で行われます。日程は、10月23日土曜日午前8時45分～午後5時まで、場所は本庁舎2階会議室です。昨年は申請団体が多かったので、書類審査で絞込みをしましたが、今年は今申請件数がそれ程多くなかったため、全団体に参加してもらいます。

公開プレゼンテーション審査員は、事務局要望では3名です。昨年と同じ人数ですが、まず、学識経験者であるL委員先生いかがでしょうか？

**L委員** わかりました。

**K委員** お願ひします。あとお二人ですね、どなたかいらっしゃいますか？

**Q委員** お引き受けします。

**K委員** 私もやります。よろしくお願ひします。

**L委員** 審査について質問があります。申請団体すべてにプレゼンテーションということで、昨年よりゆるやかになったと思います。申請自体が少なかったということですが、書類審査の感想を聞きたいのですが… 準備不足などありましたか。

**P委員** ありました。昨年立ち上げたばかりという団体もありましたが、それは国際都市を意識して作ったのかなと思いました。自治会・町会からも申請がありました。その他は助成金に適した事業かどうかを考慮しました。

**I委員** 内容が大田区の問題解決というものではなく、スポーツ、芸術や趣味の延長のようなものは、スタート・ステップ・ジャンプ助成事業としてはふさわしくないと思いました。1の評価をつけたものもあった。申請の金額も満額が少なかった。事業の規模、内容がステップアップ・ジャンプアップ助成に見合っておらず、スタートアップの段階ではないかと思いました。

**H委員** 申請事業は従来の事業に対し、新規事業を行うために申請してきた団体などがありました。今までの予算で自分たちできるのではないかと思ったところもありました。申請内容がずいぶん変わってきているように思います。スタート・ステップ・ジャンプ助成という段

階を踏むという感じではなく、ジャンプアップ助成などはスケールが小さいと思いました。  
主旨をはっきりとPRする工夫が必要だと思います。

**K委員** 予算を使わなかった分次年度に流用できないのですか？

**担当課長** 総額になるまで成績上位団体からとって行きます。

**事務局** ジャンプアップ助成は57万の申請のみです。申請内容でみていただきたいが、今回相当でないということも有りうると思います。

**担当課長** ステップアップ助成は上位から総額になるまでとっていくことになると思います。

**K委員** 質問ありますか。なければ進みます。

次は、スタートアップ・ステップアップ助成団体経過観察・団体訪問についてです。

すでに経過観察が終了している団体は、カルディナと早稲田後見サポートが、P委員、ほたるの会、O委員、ラオスの子ども、M委員、見守りネットワーク、Q委員です。ありがとうございました。残りの経過観察の日程につきましてはすでに郵送しています黄色色の用紙のスタートアップ助成が8団体、ピンクの用紙のステップアップ助成が5団体です。かなり土日予定がありますが、皆様いかがでしょうか？

訪問団体が増えたので大変ですが、委員の皆様の中でご自分が訪問できる所がありましたらおっしゃってください。

**担当課長** できれば一事業一人でお願いします。

#### <審議>

J委員 スマイルパソコン スポーツくらぶ O委員 六郷用水

K委員 若者の居場所づくり L委員 六郷どんとやき

P委員 トマト あかしろきいろ M委員 ワップフィルム みんなのたんぼ

I委員 わくわく山王 Q委員 わいわいチルドレン

N委員 わかめ H委員 ふるさとづくり

**K委員** では、選出委員の皆様よろしく申し上げます。おって詳細は区民協働担当から連絡します。次は、連携・協働の仕組みづくりについての審議です。

4月の推進会議でだされました大田区における問題点について、先日、その解決策を考えたアンケートを委員の皆様から送っていただきました。

事務局から、アンケートの回答について簡単にご説明いただければとおもいます。

#### <事務局説明>

事務局からの説明がありました。皆さん、補足する点があれば付け加えていただければと思います。

**O委員** 青少対の行事に特別出張所は参加しますがそれ以外の職場の人は参加しません。

**L委員** 自治会・町会の加入について聞きたいのですが。

**K委員** 大田区では加入は自由です。

**L委員** 地元でマンションの理事をしていますが、町会に入っていて、お祭りなどは、理事長があいさつする程度です。マンションに消防団があって町の人参加します。それ以外はあまり付き合いありません。地域や町で感じはちがうと思いますが、具体的におしえていただ

ければ

**M委員** 大森、蒲田、調布地区により、人の気持ちが変わります。一概に言えません。

**L委員** マンションも規模などに違いが有り同じです。

**K委員** 業者がマンションを販売するとき、購入者に町会に入ってもらおうよう業者に要望しています。町会には、会費が入ってくるかわりに、義務も発生します。定例会にマンションの代表者を出してもらいますが、出席率が悪いので、関心を持たれるようなイベントを考えたりしていますが… 防災はマンション独自でやっているし

**L委員** 私のマンションは約70世帯で管理組合の会合を月1度、総会を年1回開いています。町会に準じています。

**K委員** 行事ではチラシやポスターを貼るので、子どもの参加が多いです。

**M委員** そうですね。

**L委員** 行事を通じた結びつきはあるということですか。

**M委員** ありますが、役員はやりたがらないようです。

**L委員** 回覧板のシステムは必要ですか。新聞やポストに投函もありますが

**M委員** 限定された地域のものには、回覧が必要だと思います。

**K委員** 町会で遅れているのは、パソコンです。いまだ紙で情報を流しています。

**L委員** 年齢の差ではないと思います。データ送信はITだと簡単です。

**Q委員** 私たちのNPOは2000年にディサービスを開きました。町会の受け入れが良かったです。つながりができています。新規の者にとっては敷居が高いです。町会は行事が決まっています。綿密に計画を立てて準備していますが、アピールの方法は多いほうが良いと思います。もう一工夫あればと思います。

**K委員** 年間行事予定表は作っています。パソコンで作成していますので、マンションは誰か一人に送信してとすればいいですね。

**Q委員** 情報サイトに登録して、発信すればよいと思います。

**L委員** 町会により違いがあります。

**M委員** 差があります。

**P委員** 紙媒体もすてられませんが、ITを活用しても良いと思います。

**L委員** 自治会・町会ごとにホームページを作っておけば、特に若い世代には良いかと思えます。

**事務局** 情報サイトに登録するとパスワードとIDを渡します。団体のミニホームページを開くことができます。区の審査がはいますが、個々に団体がホームページを作らなくても情報サイトを利用できます。後日、町会・自治会にも登録について説明します。

**K委員** 連携・協働の仕組みづくりについて進みたいと思います。

**L委員** `mics おおた` のレセプションに参加しましたが、自治会・町会、区、団体が一堂に会したのは、私はあまり例がないかと思いますが初めてですか。

**M委員** お正月にも集まりがあると思いますが

**J委員** それは一部の人だけです。

**P委員** このようなものは初めてだと思います。

**L委員** あそこまで大規模ではなくてよいですが、何回か開いてはどうでしょう。

**担当課長** 一同に会したのは、前例がないと思います。スタートであり、良い機会だったと思います。

**K 委員** はじめてですね。得るものが沢山あると思います。大いにこれからもあると

**担当課長** 名刺交換もさかんに行われていたし、人的な集まりができたと思います。

**K 委員** 連携・協働のしくみをつくるまでにはなかなかいっていない。てさぐりですが大切なことです。町会・自治会は、青少対、民生委員、保護司会、商店会とは連携が取れる。NPO は若い人の参加が多く魅力がある。連携をとると効果的だと思うが難しい。町会は高齢化していて、多くの課題に取り組めないで NPO との連携が必要だと思います。

**Q 委員** 蒲田東と連携しようと思っています。顔を合わせることによってつながりができてるように思います。町会の行事などの一つの部門を若い世代に担当させ、まかせて、彼らのネットワークで声をかける関係を増やしていくしかないと思います。声かけられる関係を増やしていくしかない。`mics おおた` ができ、消費者団体からの意見もありましたが、個人的にはつながりがでてくるし、話ができると思っています。しかけづくりも考えるが、実際、人が動くかというとなんか難しいと思います。情報サイトにみんなでアップし、情報を共有する、また `mics おおた` できっかけを行政が作っていくなどのしかけができると思います。

**K 委員** 今ある施設や組織、機能などを活用するものと、新たな組織やしくみ、システムづくりや意識改革のようなものなどに分けてまとめていきたいと思います。いかがでしょうか？

**L 委員** 地域の行事の一部を団体にまかせるなどの成功事例はありますか。

**P 委員** まだ、町会にそこまでの意識がないと思います。

**Q 委員** 町会役員から車いすを貸してくれと声をかけてくれたので協力することができた。

**K 委員** 声かけをする NPO があるのかわからない。

**P 委員** 明日、活動団体会合をしますが特別出張所に参加団体の名簿を届けます。

**Q 委員** 今後、特別出張所が活動をつなげるキーマンになると思います。

**K 委員** NPO の情報は役所にありますか。

**担当課長** 区民活動団体データベースですね

**事務局** 大田区に NPO は 200 団体ぐらいあります。地区ごとにわけますか。

**P 委員** 趣味の会が多く、地域活動をする NPO はふえていません。

**L 委員** 自治会・町会がしっかりしているので出番がないと思うのか。

**P 委員** いえ町会はやりきれないと思います。

**O 委員** 特別出張所にそういった情報があれば利用できる。町会は一人でいくつもの役をこなす。PTA の人を取り込もうと思っているが、今のところお祭りイベントへの参加だけです。

**Q 委員** モデルの特別出張所をつくって、何と何が結びつくのかやっていく。包括支援センターとも協力しあう必要がある。地域活動連携会議のようなものがあるとよい。動きやすい形で

**K 委員** 地域力推進会議も連携・協働の組織で、いろんな人が集まっていますよ。

**Q 委員** NPO は呼ばれません。

**L 委員** 地域力推進会議ですね。それでは、集約の場があるということですね

**P 委員** 地域力推進会議は大きすぎて動きが悪い

**L 委員** モデルになりそうなおところはありますか。

**Q 委員** 蒲田東特別出張所でできないかと思っています。問題は特別出張所と地域包括支援センターなどの管轄が違っていることです。

**K 委員** 話し合いをすれば解決できることだと思います。

**O 委員** 特別出張所長の権限が強いですね。

**K 委員** どこかで何かやりだしましょう。

**L 委員** 地域の団体に力を借りることはやっていますか。

**K 委員** やっています。

**担当課長** 地域のことは地域の人が良く知っていますね。

**M 委員** 個々の人たちはみんな話しをしたがっています。話をしたくて、わざと悪いことをする人もいるくらいです。NPOもそういうところを支援してほしいと思います。

**K 委員** きっかけを作りたい。NPOの情報を知りたい。なかなかこれといったものが見つかりませんね。しくみは必要なのでこれから作っていくということで最後に、第四回推進会議「ステップアップ・ジャンプアップ助成選考会」と第五回推進会議の日程の調整ですが、まず、第四回「選考会」11月の上旬から中旬ということになりますが、いかがでしょうか。ご予定はいかがですか。時間は、18:30~20:30です。

#### 審議

では、第四回の推進会議は11月12日金曜日に開催します。

それでは、第五回推進会議の日程ですが、これは、11月下旬から12月上旬です。いかがですか。時間は同じですね。

では、第五回の推進会議は、12月2日木曜日に開催します。

最後になりますが、その他ということで、皆様なにかご意見はありますか。

**事務局** 皆様、本日はありがとうございました。